



平成 23 年 12 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 23 年 4 月 28 日

会 社 名 ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
 コード番号 2189
 本社所在地 東京都渋谷区本町一丁目4番16号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役
 氏 名 告野 充

グリーンシート銘柄
 本社所在都道府県 東京都

T E L (03)5365-3201

1. 平成 23 年 12 月期第 1 四半期の業績（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

- （注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

（1）経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
23 年第 1 四半期	12,197	(494.4)	△4,791	(—)	△5,049	(—)
22 年第 1 四半期	2,051	(743.0)	△12,915	(—)	△13,418	(—)

	当期純利益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
23 年第 1 四半期	△5,122	(—)	△5 00	— —	△1.6	△1.4	△41.4
22 年第 1 四半期	△13,492	(—)	△14 55	— —	△5.0	△4.2	△653.9

- （注）1. 期中平均株式数 23 年第 1 四半期 1,024,356 株 22 年第 1 四半期 927,283 株
 2. 会計処理の方法の変更 (有) ・ 無
 3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しますが、1 株当たり当期純損失を計上していることに加え、当社株式は非上場であり、期中平均株価の算定が困難なため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	%	円 銭
23 年第 1 四半期	355,235	324,052	91.2	313 28
22 年第 1 四半期	315,997	271,401	85.9	288 82

- （注）期末発行済株式数 23 年第 1 四半期 1,034,400 株 22 年第 1 四半期 939,700 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
23 年第 1 四半期	△10,263	△14,000	19,140	7,046
22 年第 1 四半期	△41,599	△15,537	35,300	31,515

2. 平成 23 年 12 月期の業績予想（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」及び「トラスト事業」であります。現時点においてホテルの建設及び営業をしておりません。そのため、これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

第 6 期 第 1 四半期報告書

(平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

会社名 (定款上の商号)	ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
英 文 名	The Legend Hotels & Trust , inc.
コ ー ド 番 号	2189
代表者の役職氏名	代表取締役 嶋田 秀子
本店の所在の場所	東京都渋谷区本町一丁目 4 番 16 号
電 話 番 号	0 3 - 5 3 6 5 - 3 2 0 1
連 絡 者	取締役 告野 充

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 6 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日	自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日	自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日
		金 額	金 額	金 額
I 売 上 高		12,197	12,197	2,051
II 売 上 原 価		654	654	—
売 上 総 利 益		11,542	11,542	2,051
III 販売費及び一般管理費		16,333	16,333	14,967
営 業 損 失		4,791	4,791	12,915
IV 営 業 外 収 益		30	30	7
V 営 業 外 費 用		288	288	510
経 常 損 失		5,049	5,049	13,418
税引前四半期(当期)純損失		5,049	5,049	13,418
法人税、住民税及び事業税		72	72	74
四 半 期 (当 期) 純 損 失		5,122	5,122	13,492

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 6 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日	自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日	自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日
期 中 平 均 株 式 数		1,024,356 株	1,024,356 株	927,283 株
1 株当たり四半期(当期)純損失		5 円 00 銭	5 円 00 銭	14 円 55 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株当たり四半期(当期)純利益		—	—	—

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式は存在しますが、1 株当たり四半期(当期)純損失を計上していることに加え、当社株式は非上場であり、期中平均株価の算定が困難なため、記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別	第6期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
	自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日	自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日	自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日	自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日
ホテル開発・運営事業		—	—	—
トラスト事業		—	—	—
コンサルティングサービス 事業		12,087	12,087	2,051
コンテンツサービス事業		109	109	—
合 計		12,197	12,197	2,051

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	第5期末 平成22年12月31日現在		第6期第1四半期 平成23年3月31日現在	
		金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)			%		%
I 流動資産					
1. 現金及び預金		12,170		7,046	
2. 売掛金		592		368	
3. 仕掛販売用不動産		161,723		162,017	
4. 商品		821		763	
5. 貯蔵品		4,343		4,392	
6. 前渡金		1,501		—	
7. 前払費用		251		251	
8. その他		253		844	
流動資産合計		181,657	52.3	175,684	49.5
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 工具器具及び備品		187		163	
(2) 建設仮勘定		154,030		168,030	
有形固定資産合計		154,217	44.4	168,194	47.3
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア		388		366	
無形固定資産合計		388	0.1	366	0.1
3. 投資その他の資産					
(1) 敷金及び保証金		10,880		10,880	
(2) 長期前払費用		137		110	
投資その他の資産合計		11,017	3.2	10,990	3.1
固定資産合計		165,623	47.7	179,550	50.5
資産合計		347,281	100.0	355,235	100.0

(単位：千円)

科 目	第 5 期 末		第 6 期 第 1 四 半 期	
	平成22年12月31日現在		平成 23 年 3 月 31 日現在	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)		%		%
I 流動負債				
1. 買掛金	5,266		—	
2. 未払金	12,889		11,495	
3. 未払費用	1,480		1,510	
4. 未払法人税等	1,009		381	
5. 前受金	15,640		16,971	
6. 預り金	961		824	
流動負債合計	37,246	10.7	31,182	8.8
負債合計	37,246	10.7	31,182	8.8
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	345,630	99.5	355,200	100.0
2. 資本剰余金				
資本準備金	243,830		253,400	
資本剰余金合計	243,830	70.2	253,400	71.3
3. 利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	△279,424		△284,547	
利益剰余金合計	△279,424	△80.4	△284,547	△80.1
株主資本合計	310,035	89.3	324,052	91.2
純資産合計	310,035	89.3	324,052	91.2
負債純資産合計	347,281	100.0	355,235	100.0

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	第 5 期 末		第 6 期 第 1 四 半 期	
	平成22年12月31日現在		平成 23 年 3 月 31 日現在	
発 行 済 株 式 数	1,017,000 株		1,034,400 株	
1 株 当 たり 純 資 産 額	304 円 85 銭		313 円 28 銭	

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

項目	株主資本			株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金		
平成 22 年 12 月 31 日残高	345,630	243,830	△279,424	310,035	310,035
第 1 四半期中の変動額					
新株の発行	9,570	9,570	—	19,140	19,140
四半期純損失（△）	—	—	△5,122	△5,122	△5,122
第 1 四半期中の変動額合計	9,570	9,570	△5,122	14,017	14,017
平成 23 年 3 月 31 日残高	355,200	253,400	△284,547	324,052	324,052

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「有価証券報告書 第 5 経理の状況 重要な会計方針」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の 4 分の 1 に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 法人税、住民税及び事業税は、年間の見積り法人税等の 4 分の 1 に相当する金額を計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第 1 四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第 18 号 平成 20 年 3 月 31 日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 21 号 平成 20 年 3 月 31 日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

II 第6期第1四半期の業績の概況（平成23年1月1日から平成23年3月31日）

当第1四半期におけるわが国経済は、アジア諸国を中心とした新興国向け輸出の増加に伴い、企業収益は改善し、設備投資の増加等、景気の持ち直しの動きが見られたものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、景気の先行きが不透明となっております。

また、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されますが、東日本大震災の影響に加え、金融資本市場の変動や原油価格上昇の影響、海外景気の動向等によっては、景気が下振れするリスクが存在します。デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要であります。

ホテル業界におきましても、伸び悩んでおりました国内宿泊需要並びに外国人宿泊需要も底を打ち、持ち直してきておりますが、東日本大震災の影響が懸念されます。

このような状況のもと、当社は第1号ホテル建物の建設に向けて、地元・行政との調整等を行うことにより平成22年3月9日に建築許可を取得し、今年度よりホテル会員権販売の募集活動を開始いたしました。資金面では、2回の公募増資を実施して資金調達を行ってまいりました。

一方で、当社の広告宣伝及びイメージアップの一環として講演活動、マスコミ対応等を全国レベルで行ってまいりました。

また、お客様の消費活動が自動的にチャリティに繋がる仕組みを持った「W購入商品」（Wノート等）の商品販売も行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高12,197千円（前年同期494.4%増）、営業損失4,791千円（前年同期は12,915千円の営業損失）、経常損失5,049千円（前年同期は13,418千円の経常損失）、四半期純損失5,122千円（前年同期は13,492千円の四半期純損失）となりました。

III 第6期通期の売上高及び利益の予測について

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」及び「トラスト事業」ですが、現時点においてホテルの建設及び営業をしておりません。そのため、これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別
	第 6 期第 1 四半期 自 平成 23 年 1 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日
現金及び預金の増減額	△5,123
現金及び預金の四半期首残高	12,170
現金及び預金の四半期末残高	7,046

(主な増減理由)

第 1 四半期の現金及び預金の主な減少理由は、税引前四半期純損失の計上による減少 5,049 千円、仕入債務の減少額 5,266 千円、固定資産の取得による減少 14,000 千円及び公募増資による新株式発行による増加 19,140 千円等によるものであります。

V その他

(1) 募集による新株式の発行

平成23年1月6日開催の当社取締役会において決議されました、平成23年1月31日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- ① 発行新株式数 普通株式10,700株
- ② 払込金額 1株につき普通株式 金1,100円
- ③ 払込期日 平成23年1月31日（月）
- ④ 資本増加日 平成23年1月31日（月）
- ⑤ 調達資金額 11,770,000円
- ⑥ 調達資金の使途 第1号ホテルの建築設計費用の支払等に充当いたしました。

(2) 募集による新株式の発行

平成22年2月22日開催の当社取締役会において決議されました、平成23年3月29日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- ① 発行新株式数 普通株式6,700株
- ② 払込金額 1株につき普通株式 金1,100円
- ③ 払込期日 平成23年3月29日（火）
- ④ 資本増加日 平成23年3月29日（火）
- ⑤ 調達資金額 7,370,000円
- ⑥ 調達資金の使途 第1号ホテルの建設用地の購入代金の一部等に充当いたしました。

(3) 募集による新株式の発行

平成23年4月4日開催の当社取締役会において決議されました、平成23年4月28日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- ① 発行新株式数 普通株式10,100株
- ② 払込金額 1株につき普通株式 金1,100円
- ③ 払込期日 平成23年4月28日（木）
- ④ 資本増加日 平成23年4月28日（木）
- ⑤ 調達資金額 11,110,000円
- ⑥ 調達資金の使途 第1号ホテルの建築設計施工費用の支払等に充当いたしました。